

大阪市建設局設計・施工技術連絡会議 議事録

工事名	国道479号清水共同溝設置工事 - 5		
会議名称	大阪市建設局設計・施工技術連絡会議		
開催日時	平成30年10月29日(月) 14:00～15:15		
開催場所	大阪市建設局第8共通会議室(ATCビルITM棟5階)		
出席者	発注者	設計者	施工者
	建設局 道路部 道路課 建設局 東部方面管理事務所 中浜工営所	中央復建コンサルタンツ株式会社 前田建設工業株式会社	株式会社ハンシン建設
議題・議事の内容			
1. 事案概要			
<p>地盤改良工、薬液注入工において、周辺地盤への影響を抑制するため、削孔方法等の変更を行う。 工事による周辺地盤への影響を抑制するための施工手順の確認を行う。 中間立坑接続によるシールド本体構造物への影響の確認を行う。</p>			
2. 工法変更に関すること(変更内容)			
<p>周辺地盤への影響を抑制するため、地盤改良工(三重管高圧噴射攪拌工法)の削孔方法を変更する。 緊急時(地盤の隆起等)の対応をスムーズに行えるよう、薬液注入工の作業方法、削孔位置を変更する。</p>			
3. 施工方法、構造確認に関すること(確認内容)			
<p>開削(仮設)工法の施工手順について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺への影響を抑制するための施工手順を確認する。 <p>シャフト部の施工(深礎工法、接続部)方法、手順について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改良体に影響を与えない様、手ばつりによる掘削を行う。 <p>本体構造物への影響について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リバウンドによる影響や接続部以外への影響について、構造上や施工時の留意点を確認する。 			
4. 工法変更に関すること(妥当性)			
<p>工法変更についての設計者の見解</p> <p>について、工程上の問題がなければ妥当であると判断する。 【前田建設工業(株)】</p> <p>について、設計改良範囲が満足でき、止水性に問題がなければ妥当であると判断する。 【中央復建コンサルタンツ(株)】</p>			
5. 施工方法、構造確認に関すること(妥当性)			
<p>施工方法、構造確認についての設計者の見解</p> <p>近接構造物への変位許容値を満足できる施工手順であり、当初設計の考え方と相違ないので問題ない。 施工中の水道管への影響に注意をし作業を行う必要がある。 【中央復建コンサルタンツ(株)】</p> <p>手ばつりによる掘削は妥当である。</p> <p>施工中の換気には注意をし作業を行う必要がある。 【前田建設工業(株)】</p> <p>リバウンド等を配慮した構造となっているため、設計通りの施工をすれば構造上の問題はない。 【前田建設工業(株)】</p>			

例示する項目のうち精査したものについて記載する。

説明事項、確認事項、決定事項、各出席者の主な意見、対応方法などについて、簡潔に記載する。